

# コインの未来

(毎月分配型)

追加型株式投資信託／ファンド・オブ・ファンズ



かし  
賢コインちゃん  
「コインの未来」キャラクター

## 当ファンドの投資リスク

ファンドのリスクは下記に限定されません。詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご覧ください。

ファンドは、投資信託証券への投資を通じて、債券等に実質的に投資する効果を有しますので、金利変動等による当該債券の価格下落や、当該債券の発行体の倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落することがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替の変動により基準価額が下落することがあります。したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失が生じることがあります。

※基準価額の主な変動要因には、この他にも、カントリーリスクなどがあります。

お申込み・投資信託説明書(交付目論見書)のご請求は



商号：株式会社池田銀行  
登録金融機関 近畿財務局長(登金)第6号  
加入協会：日本証券業協会

設定・運用は

## 野村アセットマネジメント

商号：野村アセットマネジメント株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号  
加入協会：(社)投資信託協会／(社)日本証券投資顧問業協会

ファンドの基準価額等についてのお問い合わせ先：野村アセットマネジメント株式会社

★サポートダイヤル★ ☎ 0120-753104

(受付時間) 午前9時～午後5時(半日営業日は午前9時～正午)



★インターネットホームページ★

[www.nomura-am.co.jp/](http://www.nomura-am.co.jp/)



★携帯サイト★

[www.nomura-am.co.jp/mobile/](http://www.nomura-am.co.jp/mobile/)



# コイン



## ファンドの特色

### 世界の相対的に金利の高い複数の通貨の債券等に分散投資します。

以下は当ファンドが主に投資する「ノムラ・カレンシー・ファンド・スーペリア・セブーンクラスC」のファンドの特色及び投資方針等です。

- 原則として相対的に高金利の7カ国（通貨）の債券等に等分投資します。
- 当該通貨建ての債券等の円ベースでのリターンの追求を図り、安定した収益の確保と中長期的な信託財産の成長を目指して運用を行ないます。
- 投資対象国（通貨）の選定では当該国の格付等を考慮します。
- ポートフォリオ全体のデュレーションは原則として180日以内とすることを基本とします。
- 投資対象国（通貨）は原則として3ヵ月毎に見直しを行ないます。

・新興国を含む世界の国（日本を除きます。）の通貨建ての債券（国債、政府機関債、政府保証債、国際機関債、社債、資産担保証券等）およびコマーシャル・ペーパー等の短期証券を主要投資対象とします。

・債券先物、金利先物、為替予約、為替先渡取引等のデリバティブ取引を利用します。

・外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行ないません。

・通貨の選定にあたっては、相対的に金利の高い通貨から国の格付、流動性等を勘案して、複数の通貨を選定することを基本とします。なお、通貨の選定においては、金利水準に加え、信用状況を含むファンダメンタルズ、市場規模、流動性等を勘案することから、必ずしも相対的に金利の高い上位通貨がそのまま選定されない場合があります。

市況動向（ファンドが組入れる投資信託受益証券の投資対象国における非常事態（金融危機、デフォルト、重大な政策変更や資産凍結を含む規制の導入、自然災害、クーデターや重大な政治体制の変更、戦争等）を含む。）や、その他資金動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

# の未来



●毎月、安定分配を行ないます。また、年4回（2月、5月、8月および11月）のボーナス分配が期待できます。

※ファンドの分配金は投資信託説明書（交付目論見書）記載の「分配方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

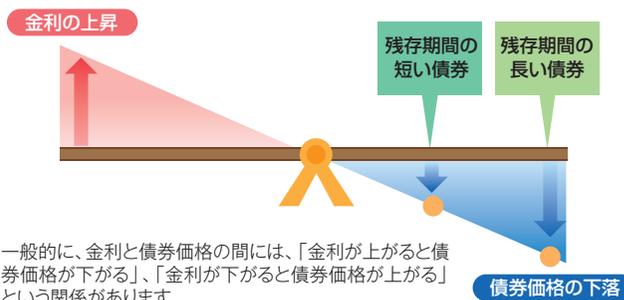
※ボーナス分配とは、決算時に基準価額水準等を勘案して毎月の安定分配に委託会社が決定する額を上乗せする分配です。当面は、2月、5月、8月および11月の決算時にボーナス分配を付加して分配する場合があります。

## ご参考

### デュレーションとは・・・

- ・金利がある一定の割合で変動した場合に、債券価格がどの程度変動するかを示す指標です。
- ・デュレーションが長いほど金利変動による価格変動リスクが大きいことを示します。
- ・デュレーションは投資元本を利息収入や償還金で回収するのにどのくらいの期間が必要かを示すものでもあり、通常は年数で表示されます。一般に残存期間が長い債券ほど、また利率（クーポン）が低い債券ほどデュレーションは長くなります。

金利と債券価格の関係（イメージ図）

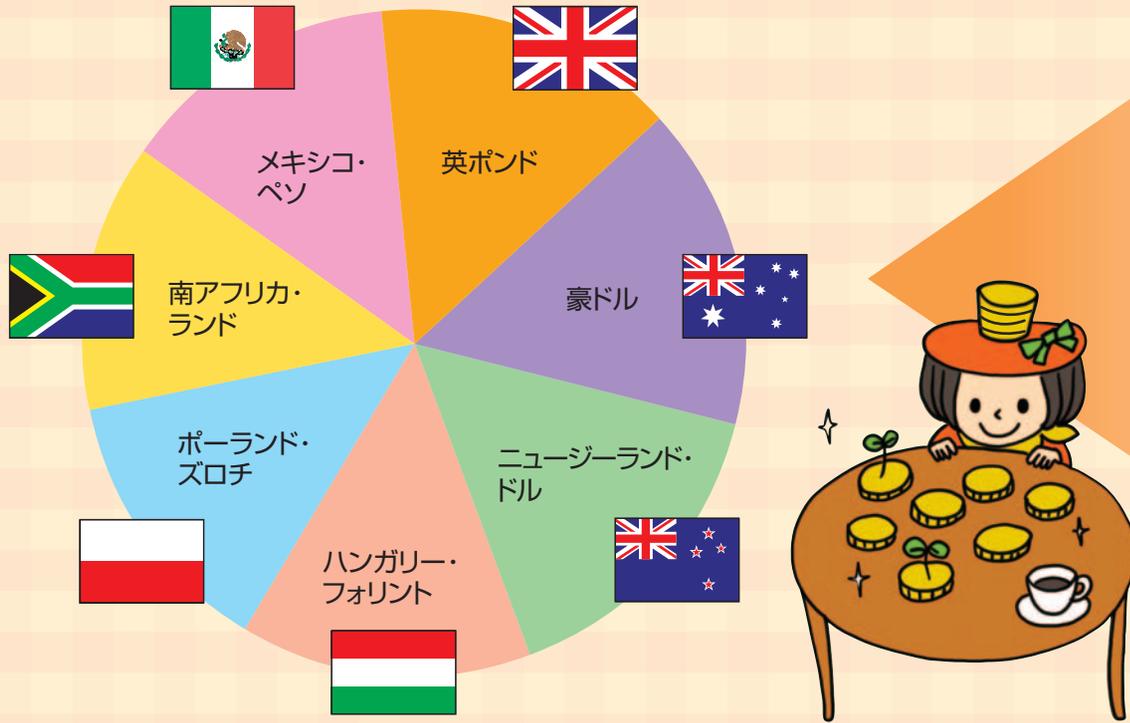




# 新興国を含む世界の相対的に金利の高い7ヵ国（通貨）の債券等に分散投資し\*、安定した収益

\*実際の債券等への投資は、当ファンドが主に投資する「ノムラ・カレンシー・ファンド・スーパーリア・セブン・クラスC」が行ないます。

## （ご参考）高金利7ヵ国通貨



※通貨の選定においては、国の格付、流動性等を勘案して7通貨を選定することを基本とします。選定する通貨数については将来変更される場合があります。通貨の選定においては、金利水準に加え、信用状況を含むファンダメンタルズ、市場規模、流動性等を勘案することから、必ずしも相対的に金利の高い上位通貨がそのまま選定されない場合があります。選定する通貨の見直しについては、原則として、3ヵ月毎に見直すことを基本とします。

上記は実際のファンドでの運用を示すものではありません。

## （投資環境）高金利通貨国の格付

下記の高金利通貨国は、格付機関から高い格付を得ています。

S&P社		ムーディーズ社	〈高金利通貨国〉	
高い 信用度 低い	AAA	Aaa	AAA/Aaa	<u>イギリス</u> <u>オーストラリア</u> <u>ニュージーランド</u>
	AA	Aa		アメリカ カナダ シンガポール スウェーデン デンマーク ユーロ圏(ドイツ)
	A	A		AA/Aa
	BBB	Baa	A/A	<u>ハンガリー</u> <u>ポーランド</u> <u>南アフリカ</u> <u>メキシコ</u>
	BB	Ba		チェコ マレーシア
	B	B		
	CCC	Caa		
CC	Ca			
C	C			
D				

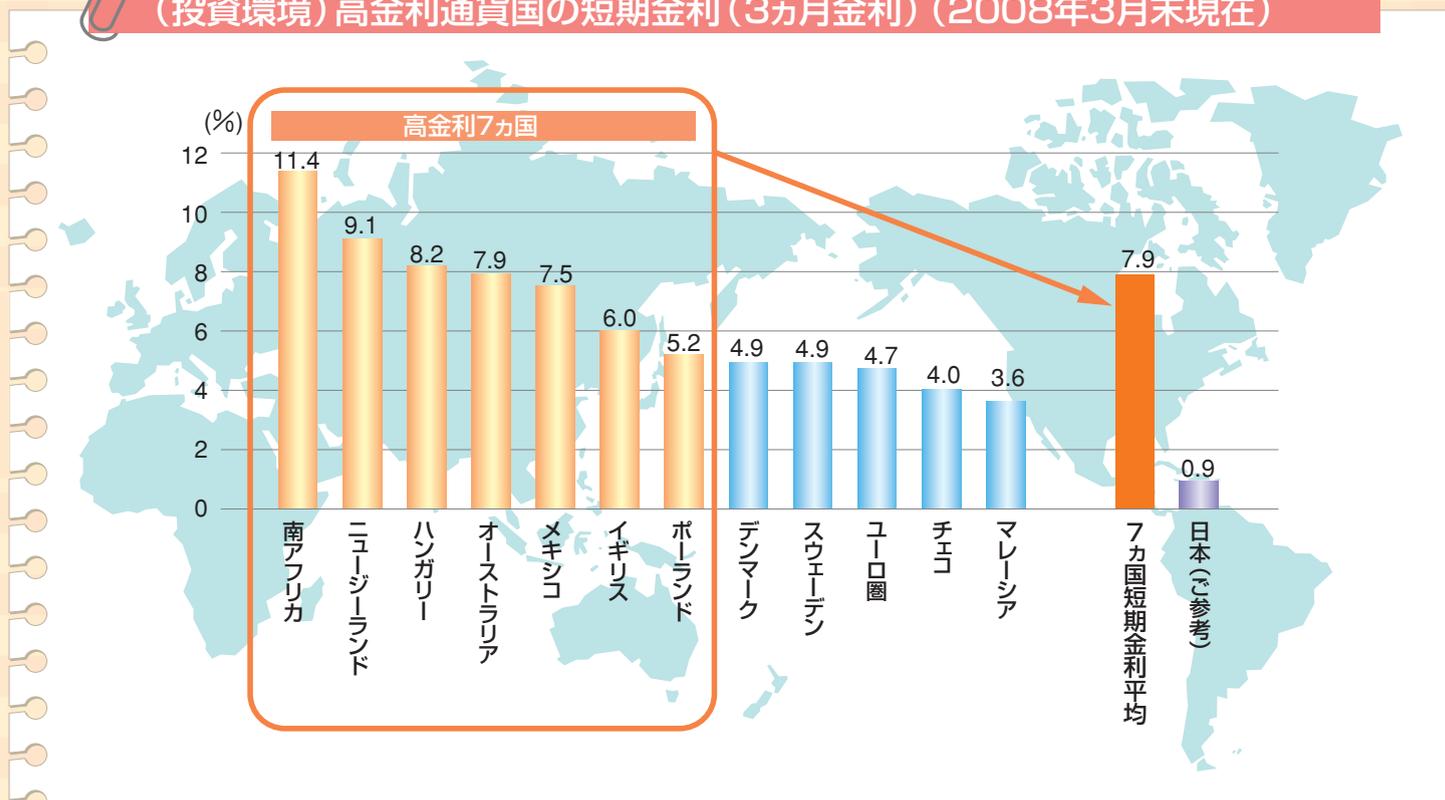
大きく表示されている国は、高金利通貨国の中でも相対的に金利が高い7ヵ国です。

※上記格付はスタンダード&プアーズ社(S&P社)あるいはムーディーズ社のいずれかの格付機関の高い方の格付によります。自国通貨建て長期債の格付です。(2008年3月末現在)

※上記の高金利通貨国は、JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・ブロードおよびJPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケットの指数構成国の中から、信用状況を含むファンダメンタルズ・格付等を勘案し、相対的な金利水準の高さにより、野村アセットマネジメントが選定したものです(2008年3月末時点)。

上記は実際のファンドでの運用を示すものではありません。

(投資環境) 高金利通貨国の短期金利 (3ヵ月金利) (2008年3月末現在)



(出所) ブルームバーグ社の情報を基に野村アセットマネジメント作成

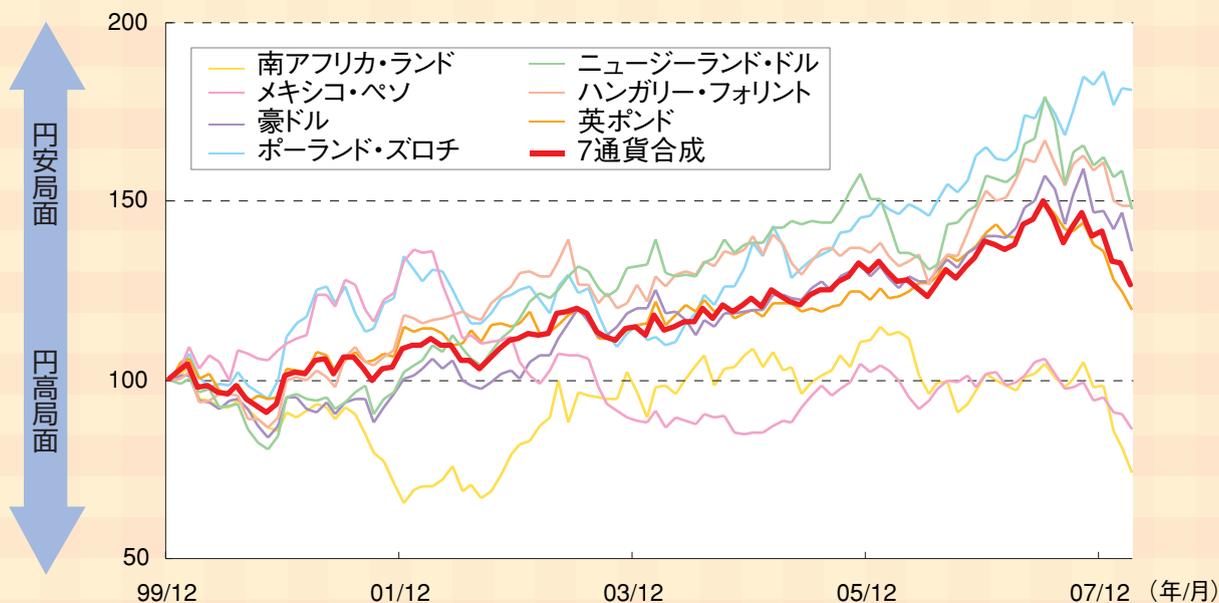
※「7カ国短期金利平均」は高金利7カ国の短期金利の平均値です。金利は、現地通貨ベース、課税前ですが、ポーランドのみ源泉課税等を考慮し、目安として15%減率しています。実際の投資に際しては諸条件に応じて減率幅が変動します。

※上記の高金利通貨国は、JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・ブロードおよびJPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケットの指数構成国の中から、信用状況を含むファンダメンタルズ・格付等を勘案し、相対的な金利水準の高さにより、野村アセットマネジメントが選定したものです(2008年3月末時点)。

上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。上記は実際のファンドでの運用を示すものではありません。

● (ご参考) 過去の為替(対円レート)の推移 複数通貨の合成をした例 (1999年12月末~2008年3月末) ●

複数の通貨を単純に合成すると、値動きが平準化することが確認できます。



(出所) ブルームバーグ社の情報を基に野村アセットマネジメント作成

※1999年12月末を100として指数化。「7通貨合成」は7通貨(南アフリカ・ランド、ニュージーランド・ドル、メキシコ・ペソ、ハンガリー・フォリント、豪ドル、英ポンド、ポーランド・ズロチ)を等分で保有し、毎月末にリバランスをしたと仮定(手数料等は考慮していません。)し、計算しています。上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。

上記は実際のファンドでの運用を示すものではありません。

## (投資環境) 近年の新興国について

国際金融資本市場の発達・経済の国際化が進展するなか、世界経済の発展に貢献してきた各新興国の財政面・経済基盤は、安定感が増したと考えられます。

### ● 外貨準備の増大 (経済基盤の安定化)

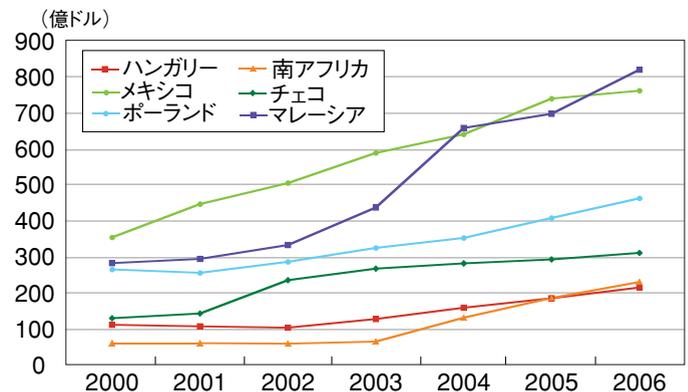
新興国は、先進国の生産拠点の移転先になるなど外貨収入を増加させ、外貨準備を積み上げてきました。これにより、経済基盤は改善されました。

「外貨準備」とは、

国が保有する外貨や外貨建て証券などの合計額であり、外貨建ての借入金の返済など対外的な支払い能力を示します。また、金融当局は、自国通貨の為替レートの急変動を防ぐために、「外貨準備」を為替介入で使用します。

(出所) ジェトロの情報に基づき野村アセットマネジメント作成。

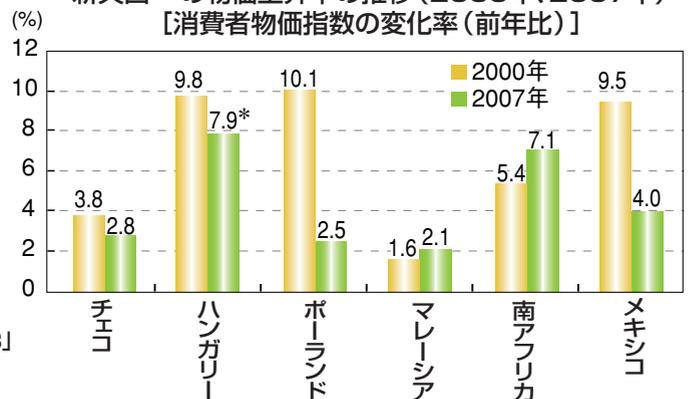
新興国<sup>※1</sup>の外貨準備高の推移 (2000年～2006年)



### ● 物価上昇率の安定化

過去において、高い物価上昇率が新興国への投資での大きなリスクとなっていました。近年、新興国の物価上昇は概ね安定しました。

新興国<sup>※1</sup>の物価上昇率の推移 (2000年、2007年)  
[消費者物価指数の変化率 (前年比)]



(出所) IMF「World Economic Outlook Database, April 2008」に基づき野村アセットマネジメント作成

\*ハンガリーの2007年の物価上昇率はIMF予測値。

当ファンドには、投資リスクがあります。また、新興国の通貨等に投資する場合には先進国に投資するよりも一般的に高いリスクがあります。詳しくは投資信託説明書 (交付目論見書) または当資料の「投資リスク」をご覧ください。

※1 上記新興国は、JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケットの指数構成国の中から、信用状況を含むファンダメンタルズ・格付等を勘案し、野村アセットマネジメントが選定したものです (2008年3月末時点)。

上記は過去の実績であり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。上記は実際のファンドでの運用を示すものではありません。

## ご参考

### 高金利通貨とは・・・

他の通貨との比較で相対的に高い金利の通貨を「高金利通貨」と呼ぶことがあり、為替の変動率が低い場合に高金利通貨が注目される場合があります。代表的な高金利通貨には、資源国通貨である豪ドル、南アフリカ・ランドや、新興国通貨といわれるメキシコ・ペソ、ハンガリー・フォリントなどがあります。

高金利通貨の金利の高さには様々な理由がありますが、資本の流出を食い止める場合や物価上昇が著しい場合などでは通貨安に傾く恐れがあり注意を要します。

### 新興国通貨とは・・・

将来の経済成長が期待される新興国市場は、通貨の価値が上昇する期待もあり、新興国通貨 (エマージング通貨) と呼ばれ注目されています。代表的な新興国通貨には、メキシコ・ペソ、南アフリカ・ランド、ハンガリー・フォリントなどがあります。

新興国通貨は高い経済成長を背景に大きな利益が期待できる反面、市場の取引量・売買の容易さ (流動性) が十分でなかったり、制度面でも先進国と比較して未熟な点があったりします。また、大きな変化が起こる可能性もあるので、経済を取り巻く環境などを注視する必要があります。

# 分配方針

主にファンドが得た利子収益等を中心に、毎月25日(当該日が休業日の場合は翌営業日)に分配を行なう予定です。また、運用成績次第では年4回(2、5、8、11月)の実績(ボーナス)分配が期待できます。



※ファンドの分配金は投資信託説明書(交付目論見書)記載の「分配方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

※毎月の安定分配は主にファンドが得た利子収益等を中心に安定分配を行ないます。

※ボーナス分配とは、決算時に基準価額水準等を勘案して毎月の安定分配に委託会社が決定する額を上乗せする分配です。2月、5月、8月および11月の決算時に付加してボーナス分配として分配する場合があります。

# 運用実績

## 分配金実績 2008年5月26日現在



分配金は1万口当り、課税前。分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。分配金は投資信託説明書(交付目論見書)記載の「分配方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

## 基準価額の推移 2008年3月28日(設定日)～2008年5月26日



設定日前営業日=10,000として指数化したものです。基準価額(分配金込み)は分配金を非課税で再投資したものと計算しています。したがって、実際のファンドは課税条件によって受益者ごとに指数収益率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮しておりません。当グラフの運用実績は過去のものであり、将来の運用実績を示唆あるいは保証するものではありません。

# ファンドの仕組み



通常の状況においては、「ノムラ・カレンシー・ファンドースーパーリア・セブーンクラスC」受益証券への投資比率は、概ね90%以上を目処とします。ファンドは、短期有価証券等に直接投資する場合があります。

## 当ファンドが投資する「ノムラ・カレンシー・ファンドースーパーリア・セブーンクラスC」の特色

- ・新興国を含む世界(日本を除く)の中で相対的に金利が高い通貨から、国の格付、流動性等を勘案して、複数の通貨を選定し、当該通貨建ての短期有価証券等の円ベース(為替ヘッジなし)でのリターン追求を図り、安定した収益の確保と中長期的な信託財産の成長を目指して運用を行ないます。
- ・複数の通貨を選定し、当該通貨建ての短期有価証券等および代替としての当該通貨建て以外の通貨建ての短期有価証券等に分散投資を行ないます。
- ・通貨の選定にあたっては、原則として、先進国及び新興国(日本を除きます。また、市場規模、投資規制等の観点から一部の国を除外する場合があります。)の通貨のうち相対的に金利の高い通貨から国の格付、流動性等を勘案して、複数の通貨を選定することを基本とします。通貨のエクスポージャーについては、原則として、選定した通貨のエクスポージャーをフルに維持します。また、通貨別のエクスポージャーについては、組入資産の通貨配分にかかわらず、為替予約取引等を活用し、原則として、等分とすることを基本とします。

## お申込みメモ

●信託期間	無期限(平成20年3月28日設定)	
●決算および分配	年12回の決算時(原則毎月25日。同日が休業日の場合には翌営業日。)に、分配方針に基づき分配します。	
ご購入時	●お買付価額	お申込み日の翌営業日の基準価額
	●お買付単位	①一般コース:1万口以上1万口単位(当初元本1口=1円)または1万円以上1円単位 ②自動けいぞく投資コース:1万円以上1円単位 *販売会社によって異なる場合があります。
ご換金時	●ご換金価額	お申込み日の翌営業日の基準価額 *原則、お申込み日から起算して6営業日目からご換金代金をお支払いいたします。
その他	●お申込み不可日	お申込み日当日がニューヨーク、ロンドンまたはルクセンブルグのいずれかの銀行の休業日と同日の場合または12月24日である場合。

課税関係	原則、分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の個別元本超過額に対して課税されます。
------	--

※お申込みの際には投資信託説明書(交付目論見書)でご確認ください。

## 当ファンドに係る費用

●お買付手数料	お申込み時にご負担いただきます。 お買付価額に対して、2.1%(税抜2.0%)以内で販売会社が独自に定める率
●信託報酬	ファンド保有期間中に、期間に応じてかかります。 純資産総額に対して年0.714%(税抜年0.68%) ○実質的にご負担いただく信託報酬 (信託報酬に、ファンドが投資対象とする外国投資信託の信託報酬を加えた概算値)年0.994%程度(税込)* *ファンドが投資対象とする外国投資信託の信託報酬には固定の最低金額が定められているものがあるため、当該外国投資信託の純資産総額が少額な場合には年率換算で上記の信託報酬率を上回る場合があります。
●その他の費用	ファンド保有期間中に、その都度かかります。 (運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことができません。) ・組入価証券の売買の際に発生する売買委託手数料 ・監査費用 ・外貨建資産の保管等に要する費用 等
●ご換金手数料	ご換金時にご負担いただきます。 なし
●信託財産留保額	ご換金時にご負担いただきます。 なし

※お客様には上記の費用をご負担いただきます。

※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)の「費用・税金」をご覧ください。

詳しくは販売会社までお問い合わせください。

## 投資リスク

当ファンドの投資リスクは下記に限定されるものではありません。詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

### 基準価額の主な変動要因:金利変動リスク、信用リスク(クレジットリスク)、為替変動リスク、カントリーリスク

- ◆金利変動リスク ファンドが、投資信託受益証券への投資を通じて実質的に投資する短期有価証券および短期金融商品は、市場金利の変動により価格や利回りが変動します。よって、金利の変動により、ファンドの基準価額は変動します。
- ◆信用リスク(クレジットリスク) ファンドが投資する投資信託における有価証券等への投資にあたっては、発行体において利払いや償還金の支払いが遅延したり、支払いが滞るリスクが生じる可能性があります。
- ◆為替変動リスク ファンドは、外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。また、投資対象とする円建ての投資信託においては、外貨建資産について、原則として対円での為替ヘッジを行いません。したがって、ファンドの基準価額は為替変動の影響を大きく受けます。
- ◆カントリーリスク ファンドが投資信託受益証券への投資を通じて実質的に投資を行なう新興国の経済状況は、先進国経済と比較して一般に脆弱である可能性があります。そのため、当該国のインフレ、国際収支、外貨準備高等の悪化、また、政治不安や社会不安あるいは他国との外交関係の悪化などが債券市場や為替市場に及ぼす影響は、先進国以上に大きいものになることが予想されます。さらに、政府当局による海外からの投資規制や課税的な影響、海外への送金規制などの種々な規制の導入や政策の変更等の要因も、債券市場や為替市場に著しい影響を及ぼす可能性があります。

### ご留意事項

- ・当資料は、野村アセットマネジメントが作成した販売用資料です。
- ・当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料中の記載内容、数値、図表等は、当資料作成時のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。なお当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。
- ・ファンドは、元金が保証されているものではありません。
- ・ファンドに生じた利益および損失は、すべて受益者に帰属します。
- ・投資信託は金融機関の預金と異なり、元本は保証されていません。
- ・投資信託は預金保険の対象ではありません。また、登録金融機関が取扱う投資信託は、投資者保護基金制度が適用されません。
- ・お申込みにあたっては、販売会社よりお渡りする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認ください。

「コインの未来」には、「毎月分配型」と「年2回分配型」の2つのコースがあり、販売会社によっては「毎月分配型」「年2回分配型」の両方のコースのお取り扱い、または「毎月分配型」もしくは「年2回分配型」のどちらか一方のみのお取り扱いとなる場合があります。なお、上記お申込みメモは、「コインの未来(毎月分配型)」のみのお取り扱いの場合に基づくものです。「毎月分配型」「年2回分配型」の両方のコースお取り扱いの場合、「毎月分配型」「年2回分配型」間でスイッチングできますが、販売会社によってはスイッチングのお取り扱いを行わない場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

## 当資料の使用データ

《3ヵ月金利》各通貨の3ヵ月金利は、原則「3ヵ月LIBOR」を使用しています。ただし以下の通貨については、下表のデータを使用しています。

チェコ・コルナ	チェコ・インターバンク3ヵ月金利	マレーシア・リンギ	マレーシア・インターバンク・オフアード3ヵ月金利
デンマーク・クローネ	コペンハーゲン・インターバンク・オフアード3ヵ月金利	南アフリカ・ランド	南アフリカ・ヨハネスブルク・インターバンク・アグリード3ヵ月金利
ハンガリー・フォリント	ブダペスト・インターバンク・オフアード・レート3ヵ月金利	メキシコ・ペソ	プロミサリー・ノート3ヵ月物
ポーランド・ズロチ	ポーランド・ワルシャワ・インターバンク・オフアード3ヵ月金利		

※JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・ブロード(JPMorgan Government Bond Index Broad)及びJPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット(JPMorgan Government Bond Index-Emerging Markets)は、J.P.Morgan Securities Inc.が公表している先進国および新興国の債券を対象としたインデックスであり、その著作権および知的財産権は同社に帰属します。